

## 令和4年度東京農大校友会京都府支部総会結果

WITH コロナ対策として、会場の三密防止を図るため出席者を少なくする方法として昨年度同様、「書面決議」方式を採用して開催しました。

(開催日時) 令和4年9月10日(土) 午前11時30分～

(開催場所) ホテルグランヴィア京都 5階「千載の間」

(出席者等) 出席者 11名、書面決議書 78通(約450名に郵送)

◎ 総会(11:30～12:30)

【議長選出】 副支部長 藤田 洋嗣

【自己紹介】

令和4年生物資源開発学科卒の平和誉貴会員(「支部だより第2号」投稿者)の出席があったことを受けて、開会前に出席者全員の自己紹介を行った。



【あいさつ】 支部長 小島 義治

【自己紹介】



1) 支部会員交流企画の代替え事業として、昨年度に引き続き「支部だより(2号)」を発刊した。会員情報の提供により、支部活動への関心を継続させる意味でも効果的ではないかと思われる。現に、若干ではあるが反響も届いている。そういったことから、発刊を継続してもらいたい。

2) 校友会通常総会の結果報告として、①ONE コインの活用状況②支部フォローアップ制度③3校友会の一般社団化④入試制度等について報告がなされた。

【支部長あいさつ】 3) 教職員部会を始めとする部会活動の活性化を図りたい。

【議事】

1) 令和3年度事業報告及び会計報告、会計監査報告

・支部会員交流企画の代替え事業として、「支部だより(第1号)」を発刊した。

・総会案内を430会員に郵送したが、支部会員交流企画や各部会活動等がコロナで中止となったことや「支部だよりの印刷が女性部会・青年部会の努力により、安価に抑えられたことにより、予算に比べて支出が少なくなった。

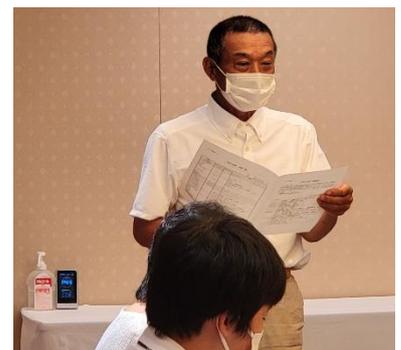
承諾者87名、保留2、否決者0名

2) 令和4年度事業計画案及び予算案

・既に、本日の支部総会まで終了しているが、交流企画については、計画しているものの実施は難しい状況である。

・予算案は昨年度決算を基準計上しているが、コロナが収まり、各事業が実施されることと考へて作成している。

承諾者87名、保留2、否決者0名



【中原会計】



【支部総会風景】

◎ 役員会（教職員部会・女性部会・青年部会合同）（12:30～13:15）

1) 女性部会・青年部会

・「支部だより」の発刊は効果的であり、役員への負担は大きいですが継続的の事業として位置付けていく。

・女性部会、青年部会のメンバー相互の交流を深め、活動の活性化を図る。

2) 教職員部会の開催・強化について

・メンバーの発掘（農業系以外「普通科・私立・中学校の教職員の取り込み」）

3) 部会役員への再整備

・教職員部会・女性部会・青年部会の役員メンバーの補充が必要である。総会案内の返信者等から、新たなメンバーを勧誘して活動の活性化を図る必要がある。

・新しいメンバーを含めた、各部会合同の食事会を開催したい。

4) 来年度の支部総会日程

9月9日（土）11時30分頃から、当「ホテルグランヴィア京都」で開催する。